

## 北海道で暮らし始めて



美幌医師会  
美幌町立国民健康保険病院

つち だ ち か  
土 田 千 賀

2024年4月より北海道医師会に入会し、私にとって初の北海道医報新年号「新春随想」への投稿依頼を頂戴しました。この知らせで来年自分が還暦を迎えることに気がきました。還暦を迎えるまで大病もせず、産休以外は長期に仕事を休むことなく仕事を続けていくことができたのは、丈夫に生み・育ててくれた今は亡き両親のお陰だなあと感じます。

私は夫と愛犬（犬種バーニーズ・マウンテンドッグ）と共に2024年3月末、福井県から網走郡美幌町に移住しました。夫の北海道に住みたいという夢を叶えるためです。約2年前に札幌に宿泊し、女満別空港経由で夫が気になっていた美幌町を訪れ、突然であったにもかかわらず町役場の職員の方に、移住についてのアドバイスを丁寧にいただいたのがきっかけでした。そして夫と共に美幌町立国民健康保険病院に就職が決まりました。

私は放射線科医ですので、放射線技師と放射線科の一画で仕事をしております。私が赴任する前、病院は遠隔画像診断システムを用いていました。当院の放射線技師は3名ですが、夜間の呼び出しにも速やかに対応し、当直医の頼もしい味方です。こちらに来て感じたのは、放射線技師が異常所見を拾い上げ、それを依頼医師に分かるように表示する努力を怠らないことで、放射線技師が皆これ程責任感を持って主治医に伝えようとしているのには驚きました。北海道では遠隔画像診断が普及しており、このような気概を持った放射線技師が大勢おられるのかもしれませんが、実は凄いことだと思います。

オホーツク地方に住み始めて感じたこと、空が広くブルーが澄んでいる、春から夏は日の出がとても早い、乳製品・野菜が美味しい、お肉の味が濃い、おらかな方が多いなど沢山素敵なことがあります。こちらを訪ねてくださったフランス在住の知人の方は、美幌峠や能取岬などを巡った後、太陽の光の色を含め北欧のような広々としたところで、ゆっくり時間が流れていると印象を述べていました。私も同感で、今の北海道に対する新鮮な気持ちを忘れずに、この土地で過ごせる有難さを持ち続けたいと思います。もちろん、他科の先生方、放射線科の仲間とこれからもできるだけ長く、元気に仕事を続けたいなとも思っております。無作為の抽出とのことで可能性は低いですが、12年後、もし原稿依頼があれば、経過をご報告させていただきます。その時も初心を忘れず、オホーツク地方の良さを感じ続けていられますように。

## 保健所の思い出



札幌市医師会  
北海道保健福祉部福祉局地域福祉課

すぎ さわ たか ひさ  
杉 澤 孝 久

平成元年に旭川医大を卒業して、すぐに、道立保健所に入り、職業生活のほとんどを保健所で過ごしました。当初は、「成人病」予防、「伝染病」対策などを主な業務としており、月曜日にハイエースに乗り地域に出かけ、泊まり込みで、朝5時から健診、金曜日に保健所に戻るという生活で、金、土、日は衛生学教室に通い、騒音性難聴の実験をするなど忙しく過ごさせていただきました。

平成6年に地域保健法が成立し、身近な保健サービスは市町村が一体的に提供、保健所は専門的・技術的、広域的な業務を行うことになりました。数年もしないうちに住民健診は保健所の仕事ではないとされ、結果的に行政的、事務的な仕事が残り、保健所長になる前の一保健所医師としては、若干がっかりしたことを思い出します。

「伝染病」患者数が激減、生活状況も改善し、もう感染症対策は必要ないのではなどという保健所黄昏論も台頭し、その頃、「保健所機能の強化」を目的とした保健所の統合が全国的に進められました。道内でも、平成10年、道立保健所は45から26に減りましたが、同時に、全保健所に所長として医師が配置され、大規模保健所には複数配置されるなど、保健所機能の強化も一時的には果たされたのかなと思います。

それからは、多職種連携とか地域医療構想といった、未来に向けて地域の関係者とともに取り組む様々な事業や新興再興感染症対策が保健所の仕事となり、頑張っただけでしたが、この間に、保健所医師は「退職>採用」が長く続き、保健所長の兼務が常態化しておりました。

ちょうどこのタイミングで、新型コロナCOVID-19大流行です。圧倒的に少ないマンパワーで、保健所が「人の生死」に直面し対応に苦慮しました。終わりの見えない戦いでしたが、地域の医師会の皆様や専門家の皆様、管内市町村などの皆様のご支援を得て、なんとか乗り切っただけでした。ご協力いただいた全ての関係者の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

全国的に、保健所の活動と窮状は大きなニュースとなり、存在が改めてアピールされたのか、また、少しは役立っていることが認識されたのか、この2年間で4人の医師が道立保健所の仲間となりました。大変うれしい思い出ですが、まだまだ、保健所医師は不足しております。

全道各地の保健所で働いてみたいとお考えのかたはぜひ、道庁保健福祉部総務課までご連絡をお願いいたします。